（1） 昭和42年4月10日

THE KOHO TAMAKAWA

たまかわ広報

第17号

村のようす
（2月1日現在）

世帯数	1,427戸
人口	7,820人
男	3,812人
女	4,008人
面積	46.65 Km²

編集と発行
福島県石川郡玉川村役場
丹内栄一
でんわ 川辺 1・39・124
印刷所
須賀川市加治町69
有限会社 円谷印刷

川辺・須藤せい子さん外の「お江戸日本橋」

玉川村民芸大会開催

3月19日泉中学校屋体で玉川村公民館主催の玉川村民芸大会が盛大に行はれました。若柳流の若柳喜久佳代さんの舞踊、玉川民謡会駒木根文子さん外の「大黒舞」川辺の須藤利次さん佐藤美好さんの「万才」宍戸初子さん外の「佐渡おけさ」等が特別出演して下さい大会に色を添へて下さいました。
民謡踊は「黒田節」の上野光子さん外1名、舞踊は「明治一代女」を踊った小高の薄井美枝子さん、民謡は「長持ちうた」を歌った中の佐藤ハルエさん、歌謡曲では「君はすきだよ」の青年団の大竹勝義さんが入賞されました。

四月の行事予定表

総務課
八日 区長会
一五日 県議会議員一般選挙投票日
二一日 村長選挙告示
二八日 村長選挙投票日
五上旬 春季消防団検閲

税務課
二五日 固定資産税第一期納期
二五日 軽自動車税納期

住民課
六日 須釜児童館新入児童入所式
一〇日 生ポリワクチン投与 母子健康センター
一一日 〃 須釜支所
一七日 春期狂犬病予防接種 西部全域、吉
一八日 〃 東部地区
二五日 種痘実施 母子健康センター
二六日 〃 須釜支所
五上旬 春期大掃除

建設課
中旬 失対実績精算
下旬〜五上旬 昭和四十一年災害本年度実施設計

産業課
一二日 豚コレラ注射（母豚） 川辺、蒜生
一三日 〃 小高
一四日 〃 中
一五日 〃 岩法寺、竜崎
一三日 仔牛生産検査 西部地区
一四日 〃 東部地区
二〇日 農業委員会

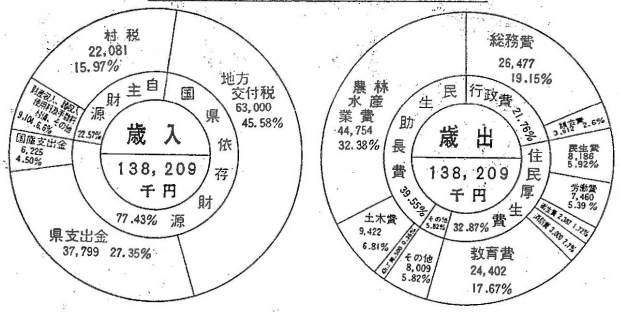
42年度 我が村の予算

一般会計一億三千八百二十万九千円

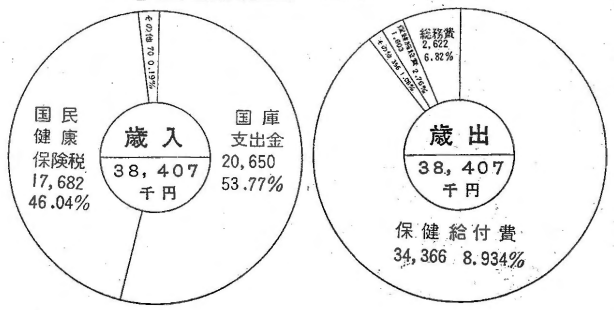
去る三月七日四十二年度第一回定例議会に於て玉川村一般会計予算及国民健康保険特別会計予算は別表のように決りました。

総額に於て三千四百三十二万七千円の増特に目立つのは収入で県支出金は約三千三百の増で支出は農業構造改善事業費の大巾な支出である。

昭和42年度玉川村一般会計予算書



42年度玉川村国民健康保険特別会計予算



42年度国土調査（地籍調査事業）について

国土調査は昭和二十六年六月壱日法律第百八〇号を以って成立され国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともにあわせて地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的として土地の権利の保護、土地の利用、取引の安全化、その他負担の公平化、が期せられることになります。

本事業は二年継続事業であって初年度は毎筆の調査と毎筆の測量を行い、次年度については毎筆の面積測定と地積図簿の作成となりますから御含み置き願います。

なを四二年度一筆調査実施地区の土地所有者は七月までに隣接地の境界をはっきりしておき境界杭を打っておいて下さい。

42年度地籍調査事業実施予定地区

㈠**一筆調査及び毎筆の測量までの地域**

川辺　宮ノ前、辰巳城池下、三ノ鳥居、二ノ鳥居、十日森、川久保、中沖

蒜生　栗木内、恵平、宮下、羽根石、兎喰鬼淵、細田

小高　上高原、石場、矢地田、北ノ内、竹ノ花、田畑、藤右衛門田、淀ノ目、天神八升蒔、江平、大隅平、石原、東ノ前、大谷地、中島

㈡**地積測定及地籍図簿作成地区**

川辺　和尚平、館、金波、堂平、山森田、武道、久保田

吉　中平、滑津、中ノ作、五駄刈、天王前遠下、馬場下、下倉沢、沢向、樋場、南作、嫁田、古金塚、西ノ内

固定資産税　第一期　第二期

暫定賦課について御願い　税務課

我が村の納税成績も年々良くなっており、これも総じて皆さんの御理解と御協力によるものと厚く御礼申上ます。又先に行なはれた固定資産（家屋）の調査に際しては御忙がしい処へ係員がお邪魔し種々御迷惑をおかけし申訳御座居ませんでした。

御蔭様で調査も完了し現在計算の段階に有ります、御承知のように固定資産税の第一期及軽自動車税の納期は四月二十五日となっておりますが計算が間に合いませんので誠に申訳御座居ませんが第一期分及第二期分を暫定計算（略前年度と同じ）により課税をしなければならない状態になってしまい暫定の納税通知書を送付しますのでよろしく御願い致します。尚今後係員一同一生懸命事務の進捗に努め本課税は第三期、第四期にて調整して納付載く事になりますので事務の遅滞を謝すと共に御了解下さる御願い致します。

四一年農構事業　圃場整備終る

三年間継続のわが村の農構事業の第一年度も三月末までに一応完了したが、なお手直しの個所についても四月十日終了の目標で工事を進めております。

事業費についても当初三、三六七万円の事業費が最終的には三、六〇〇万円と二三三万円の増加を見ましたが今后に残された事業として完成された土地の配分を如何にしたなら公平に且つ近代的経営に合致するように配分できるかに昼夜兼行て係員は努力をしております。

中地区には二〇馬力のトラクターとホップ水稲などの防除機も入りましたのでいよ〳〵構造改善の近代的経営の第一歩を踏み出したわけで四二年度には一七馬力一台、四三年度には一七馬力一台と四五馬力二台が導入されることになります。

火の用心

山火事の多発するときです。
火の元にご注意下さい。
かやま等の火入は届出をし許可を受けてから実施してください。

玉川村
玉川村消防団

人事異動

玉川村役場

退職
助役大越力夫、主事補三瓶幸子

移動
総務課（児童館）雇宗形チヨ子、児童館（新任）雇迎秀

須釜警察官駐在所
須釜駐在所（浅川町駐在所）内山平、野木沢駐在所（須釜駐在所）根本秀男

学校関係

転出
小高小　中谷一小へ内田利男、山白石小へ増子栄子、郡山芳山小へ添田正義
須釜小　母畑小へ鈴木美智子、安達木幡二小へ今泉英巳、仁井田小へ根本一子、大東中へ高橋クニ
泉中　野木沢中へ吉島利雄、石川中へ望月イネ、蓬田小へ渡辺美子、山橋中へ下田京子、東白川青生野中へ吉田勝雄、信夫立子山中へ尾崎公雄
須釜中　中谷中へ瀬谷丑治、川口高へ峰岸喜美代

転入
小高小　小平より水野純一
須釜小　小平小より星セツ子、東白石井小より小野寛次郎、鎌田小より常盤フク、沢田小より藤田慧子新任石沢一枝
泉中　中谷中より草野豊、沢田中より添田俊夫、竹貫中より星博子、母畑中より岩井勝雄、山橋中より二瓶清子、新任甲賀豊久
須釜中　山橋中より高橋六郎、新任遠藤慶繁、新任宮尾一美

議会だより

○第一回定例会

昭和四十二年第一回定例議会は去る三月七日招集され、全議員出席のうちに開会、会期五日と決定、開会劈頭村長の昭和四十二年度の施政方針の開陳、提案理由の説明が行われ引続き七番、九番議員より、土木行政について、農政問題、商工関係、母畑ダム問題について一般質問が行はれ昭和四十二年度玉川村一般会計予算（案）外九件を審議した。決議された主な議案は左記のとおりである。

議案第七号　福島県旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約の一部を改正する規約について。

議案第八号　公立岩瀬病院組合規約の一部を改正する規約について。

議案第九号　玉川村国民健康保険条例の一部を改正する条例について。

議案第十号　児童福祉法第三十五条の規定による助産施設の設置について。

議案第十一号　玉川村母子健康センター設置条例の一部を改正することについて。

議案第十二号　昭和四十一年度一般会計補正予算（第六号）案

議案第十三号　昭和四十二年度玉川村一般会計予算（案）

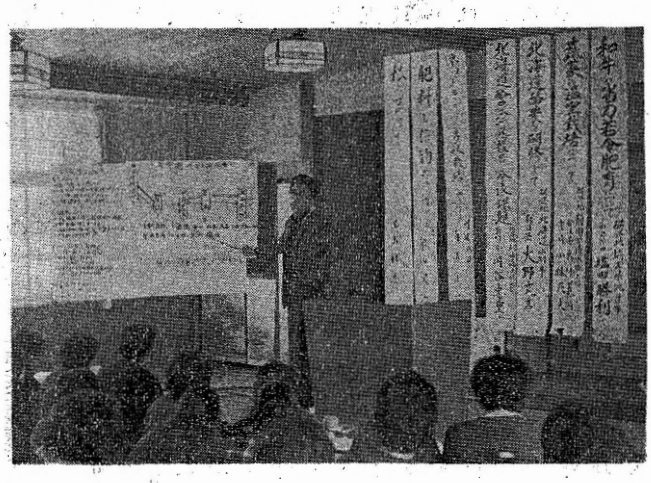
議案第十四号　昭和四十二年度玉川村国民健康保険特別会計予算（案）

他に請願、陳情処理事項外一件。

先進地研修の成果を発表

玉川村では新しい農業経営技術を習得させるために毎年村内の中堅青年を県外先進地に派遣して多くの成果をおさめているが、四十一年度派遣生の塩田勝利君、大竹義明君、小林茂夫君、円谷忠重君大野式吉君による、玉川村県外派遣実践報告会は、去る三月十日午前九時より玉川村公民館に県石川教育事務所長、岩農高校森尾先生を講師に迎い、それに村内青年、婦人多数の出席のもとに盛大に開催され、参会者に大きな感銘を与えて有意義に終了した。

尚、この発表会は毎日新聞に掲載され、各方面に反響をよんだ。



健康家庭及優良児の表彰

三月十七日次の方々が健康優良家庭及優良児として表彰されました。

優良家庭

四十年度一年間医者にかゝらなかった家庭

川辺　鈴木仙助
野崎嘉市郎
鈴木トモヨ
中　岩法寺
野崎重司
蒜生真弓マサ
小高溝井ハル
竜崎　溝井マサヨ
和田シン
沖田新
関根栄
吉田浩
小山田伸
岩法寺
小針武夫
双里正司
小木芳吉
芳賀キチヨ
村越義臣
倉鎌守清
小林亀蔵
鈴木源次郎
小林正明
佐藤喜正
鈴木寿次
南須釜
中野チヨウ
関根トラノ
佐久間スイ
北須釜
塩沢金一
山小屋
真野目サク

被保険者

四十年度一人当百円未満の家庭

川辺　須藤利治
大竹常次
吉田正一
大和田一
南須釜
塩沢正一
北須釜
小原徳美
四辻　渡辺哲夫
関根春次
須藤
須釜典子
中
小針成次
成男
岩法寺
倉鎌康子
久保木敦子
古田貴子
竜崎
小林征子
小林知佳元
須藤厚子
坂本和子
矢部文子
須藤完二
矢部重明
吉田美代子
須藤昭一
磯目洋子
大竹洋子
矢部信彦
小高
矢吹源重
須釜義勝
真野目忠夫
大野美代子
北須釜
鈴木正平三郎
鈴木豊三
鈴木孝行
山小屋
石森守始
石森健一
藤男

優良児表彰者氏名

乳児氏名　保護者

小林光江　良行
柳沼マユミ　石雄
深谷浩美　房美
吉
矢吹隆雄　昭七
須釜敬子　敬喜
近内美恵子　正雄
南須釜
小貫はるみ　正弘
木戸竜輔　順助
安藤里香　直三郎
鈴木祐一　宏侑
鈴木真弓　豊定
真野目忠夫　四三男
大野美代子　忠男
北須釜
鈴木豊吉
鈴木宗形郁子　勝吉
鈴木孝行
山小屋
石森守始
石森健一
藤男

農事メモ

① 凍霜害から農作物を守ろう

気候の変化の激しい4月5月は凍霜害の起りやすい時で又この時期は農作物に対しては一番大切なときです。霜害の防止については皆様御承知のことなので降霜のおそれのあるときは被害を最少限にくいとめるようにして下さい。なお霜注意報はNHKテレビでは17時35分から23時50分までNHKラジオ第1では16時59分から23時58分までの間に放送されます。

② 今年度の病虫害防除について

苗代に種子をまくと農家の消毒作業が始まります。作物の消毒をしないと生産ががた落ちするが一番手間がかかってやっかいな仕事なのでつい省きたがるものです。わが村では国の補助によりまして今度大型防除機2台を備付けましたので共済組合、農協組合と協力して委託防除を推進することになりましたからお協力をお願いします。

③ 鶏のニューカツスル病について

鶏のニューカツスル病は今までは関東以南に発生しておりましたが今年に入り本県にも始めて発生を見ました。全国の発生件数は41年が419千羽、42年が42万羽で本宮町に発生したものは3,500羽でこの病気発生のため富久山町、日和田町、喜久田村、本宮町の鶏等の移動を禁止されております。このように本病が当村に発生しますと村内の鶏及び卵は移動を禁止され多額の損害をうけますので次のことを実施して予防につとめて下さい。

(イ) 鶏舎内外の消毒
(ロ) 鶏卵箱の燻じょう消毒
(ハ) 外来者の場内立入禁止
(ニ) 予防注射の実施
(ホ) 一般的疾病特に呼吸器病の予防を徹底する。
(ヘ) 日常の管理の向上に努め鶏の体力の増強を図る

症状　呼吸器症状が主体で口を開きケーツ。ゼーゼー。キヤッなど異常音を発し急激に全群に及び同時に黄白色や緑色、下痢便、食慾と絶、産卵の減少、冠の赤紫色化等を発しながら死亡する。育成鶏ブロイラーにおいてはさらに急激に進行する。このような症状がありましたなら至急役場農協などに連絡して下さい。

母子健康センターへ入所される方へ

四月一日から、児童福祉法の規定による助産所として運営することになり、利用者の負担が改正になるということは前号の広報でお知らせしたとおりですが、児童福祉法の適用を受ける入所希望者はあらかじめ県知事の認定を受けることになりますのでその申請を分娩予定日の一ヶ月前までに住所地を管轄する福祉事務所長に提出しなければなりませんので用紙類は母子健康センターに備えつけてあり助産婦が指導しますから早目に申し出るようお願いいたします。

提出書類は「入所申請書」「納税証明書」「助産婦の意見書」等ですが、印鑑を持参していたゞけば、助産婦が指導してくれますから、遠慮なく申し出て下さい。

皆様すでにご承知のとおり、村では毎月十五日は妊産婦の健康相談と検診を実施しております。妊娠された方は健康管理上この検診には必らず出られて検診を受けるとともに、疑問なことを相談され丈夫な赤ちゃんを安心して生めるような指導を受けられるようおすゝめします。その機会にでも母子健康センター入所の手続きについて相談されるのが都合が良いと思はれますので、妊婦検診には是非お出かけ下さるようお願いします。

大体の方は経費減免の対象になることができますので遠慮なく利用されることをおすゝめいたします。

早春

関根栖泉

野をわたる風あり雪もある彼岸
うらうらと微風地を這う早春譜
陽を負うて老いのあゆみの草崩いる
蕗の薹匂ふは入の摘みしあと
小鳥たつ夢なほのせて空翔る

若い者にばかりまかせておけないと

——老人クラブがハッスル——

三月二十一日の春分の日竜崎部落、小高部落の各戸に日の丸の旗が立てられていた。

此れは竜崎の長寿会（会長矢吹正三氏、会員六一名）小高寿慶会（会長車田幸一さん、会員八六名）の老人クラブの方々が戦后国旗に対する認識が弱まり国旗掲揚の戸数が減って行くのを残念に思い各戸国旗掲揚運動を起こした結果である。

又須釜地区の老人クラブ連合会では集会の時間が守られず無駄な時間が多いので若い者にばかりまかせておけない、俺等が実践して見せると集合時間を守る運動を起こしたもので、此の前の会合から実行されている。

九州の旅（一）

溝井一郎

明日たゝん十日の旅のひとゝきを石楠花の鉢に水を注げり
孫子らに思ひをよべばこまごまと書きて送りぬ初夜の宿より
梅の花いまだかたけど天満宮に着飾る人の往来しげし
天満宮の花はいまだもかたけれど人だかりせし梅林の中
梅林の花いまだしも着飾りて歩行ゆるめし人々の群

42年度部落区長さん紹介

区名	区長名	副区長名
川辺	熊用常一	坂本作蔵
小高	溝中忠一	藤田金二
蒜生	藁谷正之助	曲山伝治
中	鈴木新造	小林富雄
岩法寺	遠藤重善	塩沢重四郎
竜崎	鈴木重義	石井元広
南須釜	小原重一	大野清三郎
北須釜	鈴木直春	草野林治
吉	近内寿雄	有賀藤一
山小屋	関根徳一	石森正伊

寿

お誕生おめでとうございます

（二月分の出生届書から）

部落	出生児氏名	世帯主名	続柄
川辺	矢部あゆみ	敏孫	
〃	大竹幸子	忠治	〃
蒜生	曲山寛広	寛一	二男
小高	溝井勝彦	勝義	長男
〃	遠藤昇一	昇	〃
〃	溝井律子	熊十	孫
竜崎	小林正晴	正博	〃
南須釜	小原智子	重一	〃
〃	大越明美	力夫	〃
〃	円谷一夫	房次	〃
北須釜	榊枝春夫	義一	〃
吉	大和田利光	勝利	〃
〃	有賀喜彦	金次二	男
山小屋	石森由美	金治二	女

（三月分の出生届書から）

川辺	鈴木嘉正	嘉直	三男
小高	湯沢勉	金市二	男
〃	矢吹和子	太郎二	女
竜崎	仁井田広枝	保治	孫
〃	橋本里子	正三	長女
中	塩沢恭広	忠雄	長男
南須釜	関根浩靖	力三	〃
〃	大野輝彦	千秋	孫
〃	石森春代	忠助	長女
北須釜	塩沢のり子	チカ	孫

ご逝去お悔み申し上げます

（二月分の死亡届書から）

部落	死亡者氏名	世帯主名	続柄
四辻	溝井勝	石井利五郎	
川辺	双里トメ	多喜蔵	養母
蒜生	曲山カツイ	今朝吉	妻
小高	車田繁	蔵昭五	父
〃	溝井セン	兼好	祖母
〃	湯沢勉	金市二	男
〃	円谷義	重主	
南須釜	大木吉次	ヒサの夫	
〃	大越トク	常次	吉正の父
〃	大野長	治主	妻

（三月分の死亡届書から）

北須釜	関根トメ	朋記	妻
〃	双里トラ	昌光	曾祖母
〃	橋本積	キイ	夫
〃	吉村貞吉	忠明の父	
〃	鈴木団蔵	二次男の父	
須釜	亨嘉	美父	
塩沢サヨ	清徳	タミ子の夫	

先月の日誌より　三月

三・七～三・二　第一回定例村議会
三・七　仔牛共進会
石川町
三・八　仔牛共進会
須賀川市
三・一〇　失対事業、住宅事業監査
三・二　土地改良区役員会
三・一四　地籍調査事業経理監査
三・一五　月例監査
鉤虫卵後期検便
三・一七　健康家庭及優良児表彰式
保健婦補助員会議
三・一〇　農業委員会、合併記念碑建立委員会
三・三　納税組合長会議
本庁、児童館満了式
三・三　消防団幹部会
三・二四　区長会
三・二七　農業委員会
土地改良区総代会
三・二六　国保運営委員会
三・二　たばこ病虫害防除打合せ会
三・六　選挙管理委員会
消防関係監査
三・六　選挙管理委員会
国土調査推進委員会
土地改良総代会
三・三　県議会議員一般選挙告示
選挙管理委員会

編集後記

四十一年度も終り四十二年度の予算も成立してほっとしたのもつかの間、学校先生、役所、職員の異動、続いて県議会議員の選挙、村長の選挙と目の廻る忙がしさ、しかし編集員一同元気に新しい年度の計画を練っております。

今月は山火事の多い月、火の元には充分注意しましょう。

一年生、児童館生の通学には皆さんで注意し合って交通事故などのないようにしたいものです。